

聖霊の賜物を祈る信仰共同体を

世界宣教の月 ⑤ 2017年10月29日



聖霊来たり給え 天より御光の輝きを放ち給え

地上のすべてが 新たになるように

その時イエスは仰せられた。「言っておきたいことは、まだたくさんあるが、今、あなたがたには理解できない。

しかし、その方、すなわち、真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。その方は、自分から語るのではなく、聞いたことを語り、また、これから起こることをあなたがたに告げるからである。」（ヨハネ16:11~13）



皆が担う福音宣教

世界宣教の日・2013年

教皇フランシスコのメッセージより

「福音宣教は、個人的、また私的な行いではありません。それはつねに教會的なものなのです。パウロ六世は以下のように書き記しています。

「遠く離れたへんびな所で、ひとり福音を説き、小さな共同体を集め、秘跡を授けている無名の説教者、カテキスタ、牧者も、まさに教會の活動をしているのです」。彼らは「自分勝手に仕事をしているわけではなく、また個人的な思いつきで行っているわけでもなく、教會との交わりの中で、教會の名によって教會の使命を果たしているのです。」そしてこのことが宣教に強さを与え、すべての福音宣教者は孤独ではなく、聖霊によって息吹を吹き込まれた一つの体の一部であると感じるのです。」

信者の家庭は福音から湧き出る いのちの輝きと喜びを証する

【“いのちへのまなざし” 33より — 日本カトリック司教団】

新婚夫婦は、愛する人との生活に多くの夢を描くことでしょう。しかし夫婦となった二人を待ち受けているのは、喜びと感動ばかりではありません。苦悩や失望や幻滅が、荒波のように寄せてくるときもあるでしょう。

そんな時には、ぜひ一度踏みとどまって考えて欲しいと願います。なぜなら、人間の真の成長は愛による献身にあるからです。ここでいう愛とは、好き嫌いという思いのレベルにとどまる愛ではなく、相手の幸せのために働く愛です。

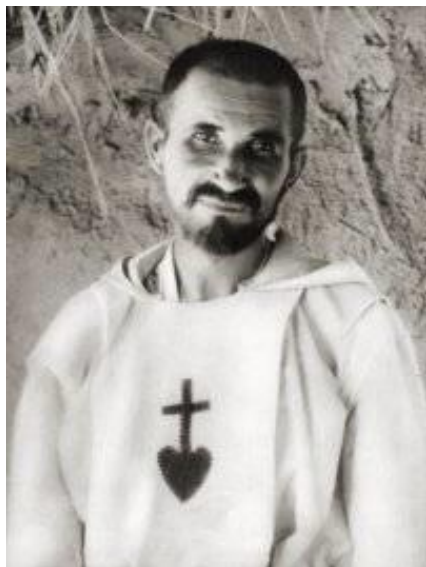
「愛は忍耐強い。愛は情け深い。愛は自慢せず、高ぶらない。

礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、妬みを抱かない。」

(1コリント13・4-5)

イエスの愛、福音の心を証した聖人

シャルル・ド・フーコー (Charles de Foucauld, 1858 – 1916)



1858年、フランスのストラスブルグで生まれました。多感な思春期に信仰を失い、無規律な生活を過ごしますが、軍人になり、モロッコ探検を機に神の現存に心を揺り動かされ28歳で回心します。ナザレで、イエスの生きた姿を具体的に発見し、この時から全生涯をあげて神に身を捧げ、キリストにつき従いたいと望みます。

司祭になり、アルジェリアのサハラ砂漠で、遊牧民であるトゥアレグ族の友であろうと努め、奴隷制度と闘い、言葉と文化を学び、トゥアレグの叙事詩を収集し、タマハク語の

辞書を編纂します。

こうして、キリスト教への改宗を求めるのではなく、全生活をあげて「福音を叫びたい」と切望するのです。

自分をイエスの小さい兄弟シャルと呼び、イエスの体と血の捧げものである聖体のうちに、神の現存と、傷ついた人類を癒し救うその愛を見、他者へと向かい、人々の中に共にいるという友愛と献身の美しい模範を示しました。1916年12月1日、第一次世界大戦中、友であるトゥアレグ人の中に最後までとどまろうとして裏切られ、暗殺されたのです。(上記は、イエスの小さい兄弟会の出版物を引用したもの)



主よ、私たちと共にいてください

主イエス・キリスト、あなたは父なる神の愛を明らかにされました。

今もとこしえに生きる方。あなたをたたえます。

復活の主よ、あなたをほめたたえます。

主イエス・キリスト、あなたは天に昇り、父なる神の御許で

わたしたちをとりなしてくださいます。

復活の主よ、あなたをほめたたえます。

主イエス・キリスト、あなたはこの世界のもっとも小さい人々の傍らにおられ、

ご自分の兄弟姉妹として呼び続けておられます。

復活の主よ、あなたをほめたたえます。

主イエス・キリスト、あなたは弟子たちになさったように、

わたしたち一人ひとりに聖霊の息吹を注いでおられます。

復活の主よ、あなたをほめたたえます。

主イエス・キリスト、あなたは世界中のたくさんの人々の心を促されます。

難民を迎えるように、被災者を助けるように、平和と友情のために尽くすように。

復活の主よ、あなたをほめたたえます。

主イエス・キリスト、世が信じるようになるために、あなたは弟子たちを一つとなるように招かれました。教会の一致の道を模索するすべての人々を支えてください。

復活の主よ、あなたをほめたたえます。

主イエス・キリスト、正義と平和のために

働くすべての人の隣にいてください。

復活の主よ、あなたをほめたたえます。

